

ハウディー セントグレインフローリング施工要領書

○下地

- ・床下からの湿気を防ぐためにも、根太の上に $\geq 12\text{mm}$ 以上の一類耐水性合板を使用してください。
- ・根太と合板の間に防湿シートを敷くことをお勧めします。

注1 下地合板の含水率は必ず13%以下として下さい。

○施工

- ・張り始める際は、壁際に必ず $5\sim 8\text{mm}$ の隙間を設けてください。
- ・接着剤と釘の併用で施工してください。

接着剤・・・エポキシ系又は1液型ウレタン樹脂系（木工用ボンドは不可）
釘・・・・・・フロー用 耐水合板に十分届く長さ

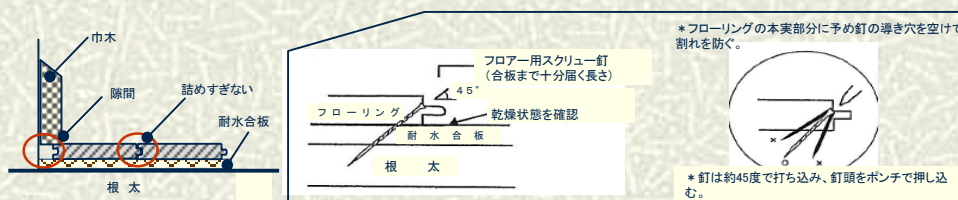
- ・接着剤はセントグレインフローリングの下側にも貼付し設置します。
- ・次いでステー플で雄実の上から下地合板に打ち込みます。

○施工（床暖仕様の場合）

A 床暖パネルの上、全面に捨て合板を施工後、上記の施工要領にて実施

注2 接着剤は耐水・耐熱性接着剤を使用して下さい。

- B 床暖パネルの上に直接施工する場合は、パネルの小根太部分に上記接着剤を団子状に塗布。
次に上記施工要領にて施工。ステー플は必ず小根太に打ち込みます。



○床暖房 使用上の注意点

- 1 床暖使用時は、常に床表面から熱を放散した状態にして下さい。
- 2 24時間床暖連続使用は避け、8時間程度を目安として下さい。
- 3 表面温度は 27°C を超えない様に温度設定して下さい。
- 4 室内は過乾燥を避け、安定湿度を保って下さい。

○メンテナンス

- ・メンテナンスフリーのフローリング材です。
- ・ワックスの塗布は必要ありませんが、塗る場合においては以下の点にご注意して下さい。

- 1 樹脂を主成分とした、フローリング用水性樹脂ワックスをお選び下さい。
- 2 ワックスは布等に少量を含ませ1枚1枚に薄く延ばして下さい。

注3 ワックスを直接フローリングにまく、垂らす、モップなどで広範囲に塗り延ばす方法は厳禁です。フローリングの反り等の原因になります。